

Shimonoseki

学校だより

school news

第06号

小月
小学校

市立学校の特色ある取り組み、子どもたちの生き生きとした姿、地域とのつながりを紹介します。学校から、まちの元気・未来をお届けします。

「あこがれ」から「おづきPRIDE」につながる企業訪問



小月小学校では、各学年が共に地域とつながりの中からたくさんの学びを得ています。その中でも、特筆すべき取り組みとして挙げられるのは、6年生が実施している「企業訪問」です。小月地区にある企業を直接訪問し、職場を見学したり疑問に思うことを質問したりします。これは、企業としての「仕事」に対する考え方や、事業主の「地域」に対する熱い思いや願い等に触れる「キャリア教育」の一環としての総合的な学習です。6年生は、「地域」に対する「あこがれ」をベースとした「ふるさとの未来を創る心意気」、すなわち「おづきPRIDE」を胸に抱きながら中学校へと巣立っていきます。

地元の経営者と語る 未来の自分

学校運営協議会会長
重村 知彦 さん



6年生が実施している企業訪問では、児童自身が考えてきた質問に、地元の企業の経営者が自身の経験をもとに回答することを中心に、意見交換を行います。大人への準備をするこの時期に、親、先生以外の大人と意見交換をすることで、普段の学校生活では得られない刺激や、経営者の地元に対する思いに触れる時間となっているのではないのでしょうか？一方経営者にとっても、子どもたちの素直な疑問や反応から、若かりし頃の気持ちや記憶を呼び覚ましてくれる貴重な時間となっています。

地域とつながる その先に…

西岡 光彦 校長



6年生だけでなく、他の学年でも地域とつながる学びがたくさんあります。低学年では、長寿会とのふれあい学習や地域を学ぶ探検学習。中学年では、JAの支援による農業生産学習。高学年では、地域の自主防災会の皆さんと防災学習を行っています。いずれの学習においても、地域から多くの支援を頂きながら、共に子どもたちの学びをつくっています。これからは、つながりの先にある「おづきPRIDE」の醸成を見据え、学校全体として「地域貢献」を強く意識した学習を充実させていきたいと考えています。

各学年における取り組み後の児童振り返りより

- ・ぼくたちは、「小月町民まつり」を盛り上げるためにみんなで協力してスローガンを書きました。みんなが見てくれるとうれしいです。(4年生)
- ・防災学習を通して、津波にあうと視界が悪く歩きにくくなるということを感じることができました。地震になると、一度だけでなく二度目も来ることが分かったので、気をつけて避難したいです。(5年生)
- ・平和学習をして、下関市に落とされた爆弾による空襲についてよく分かりました。講師の中原さんの話を聞いて下関市の空襲の悲惨さを知ることができました。(6年生)



小月小学校データ

所在地 小月西の台
6番1号
児童生徒数 266人
学級数 14学級

目指す児童像

かしこく
やさしく
たくましい小月っ子

